

審査結果について

豊川市病院事業管理者

審査の経緯について

平成 23 年 2 月 2 日に公告を行い、2 月 8 日の参加表明書の締め切りまでに 7 者から参加資格申請書の提出があり、2 月 14 日に 7 社に対し参加資格確認通知書の送付を行い、最終的には、3 月 1 日の技術提案書及び入札書の提出の締め切りまでに、6 者（1 者辞退）から提出があった。

提出された技術提案書は、3 月 7 日に市の入札等審査委員会で、同 15 日に県の総合評価審査委員会で、同 22 日に再度、市の入札等審査委員会で審議を行った。その審議結果をふまえ、病院事業管理者が市長と協議し、評価値の一番高い者を落札者として決定した。

なお、審査委員会の審査においては、参加者名は全て匿名により行った。

審査の内容（制限付き一般競争入札（総合評価落札方式）執行調書）について

1-①の「幹線道路からの出入りを前提とした工事関係車輛の動線計画及び駐車台数を示した上での駐車場計画を図で示すと共に、工事関係車輛の幹線道路の通行及び周辺地域での路上駐車防止を徹底させるための周知の方法と、それをどのような方法で確認するのか」については、2 点が竹中工務店、1 点が他の 5 社となっている。竹中工務店は 2 点となっているが、他社と比較するなか、駐車場対策において外構工事着工から立体駐車場竣工までの約 2 ヶ月間、現場の駐車場が使用できなくなることを想定し、外部に駐車場を確保することを予定するなど、より具体性及び実現性のある提案をしたことによる。

1-②の「近隣地域に対する騒音、振動、粉塵及び臭気等の影響を低減する方法と、その効果を検証する方法」については、2 点が竹中工務店を含む 3 社、1 点が 2 社、0 点が 1 社となっている。2 点のところは、環境面について住民の方から意見を聞く機会を設けていること、専任の職員の配置していることなど、より具体性及び実現性のある提案をしたことによるものである。なお、0 点が 1 社あるが、提案項目に対して、一部提案がなされなかったことによる。

2の「災害拠点病院として機能するために採用する免震構造の、より高い品質確保に必要な方法と、その有効性を確認できる方法」については、4 点が 6 社全てとなっている。各社から施工にあたりコンクリートの充填性能を確認する施工方法の提案や免震部建築施工監理技術者が配置されるなど、より具体性及び実現性のある提案をしたことによる。

3の「工事を遅滞なく進めるために、医療スタッフ等が各部門の進捗状況を確認できる方法と、その時期及び回数等」については、4 点が竹中工務店を含む 2 社、2 点が 4 社となっている。4 点の 2 社については、工程管理に関し、医療スタッフとの調整役として専任の担当者を配置するなど、より具体性及び実現性のある提案をしたことによる。

4-①の「現場において、市内下請企業がどのような施工技術の向上を望んでいるのかを把握する方法と、その技術の向上を図るための方法」の提案については、2点が竹中工務店を含む4社、1点が2社となっている。2点の4社については、現場において下請企業を中心としたより具体性及び実現性のある提案がされたが、他は市内企業全般を対象としたものとなっており、求めた提案の趣旨からはずれていることによる。

4-②の「工事施工中において継続して市内企業（建設関係企業を除く）を活用する具体的な内容と、それを工事完了時に確認できる方法」の提案については、各社から様々な提案が示されたが、全て、より具体性及び実現性があると評価し、2点となっている。竹中工務店は現場作業所において事務用品、備品、ガソリン等90品目、金額ベースで約1億2,000万円を市内業者から調達するなどの提案をした。

4-③の「Dの市内企業の活用度において一番高い評価を得たものの加算点」については、Dの市内活用度において大林組が24.64点と一番高い評価であるため、1点加算している。

B企業の施工実績のうち1の「過去10年間の300床以上の病院建築物の施工実績」と2の「過去10年間の1万㎡以上の免震構造建築物の施工実績」については、6社全て3件の施工実績があるので、2点とした。

次に、C配置予定技術者の施工実績のうち1の「過去10年間の300床以上の病院建築物の施工実績」については、2件実績のある1社が1点、竹中工務店を含む他の5社については、実績が1件であるため0点とした。

次に、2の「過去10年間の1万㎡以上の免震構造建築物の施工実績」については、3件の実績のある1社が2点、2件の実績のある竹中工務店が1点、他の4社については、実績が1件であるため0点とした。

次に、D市内企業活用度であるが、6社中4社が発注予定金額で50億円を越えており、市内企業を最大限活用していただきその活性化や雇用の確保を図るという市の意向を、入札参加者によく理解していただけたものと考えている。

落札者である竹中工務店は、建築工事が46億8,600百万円で順位は2番目、加算点は13.38点、電気設備工事は9億300百万円で2番目、加算点は3.45点、機械設備工事は10億8,800百万円で1番目、加算点は5.37点、外構工事は4億300百万円で1番目、加算点は1.16点、合計金額は70億8,000百万円で2番目、Dの市内企業活用度の加算点計は23.36点である。

なお、竹中工務店が提案した下請け企業数であるが、建築工事は16社中10社が市内企業、電気設備工事は2社中1社が市内企業、機械設備工事は12社中10社が市内企業、外構工事は3社中2社が市内企業、合計で33社中23社が市内企業へ発注する提案である。

順位1位の株式会社竹中工務店名古屋支店については、A+B+C+Dの加算点合計は44.36点となり、これに標準点100点を加えた技術評価点は144.36点となり、これを入札金額105億5,040万円で割る。この割った数字に1億を掛けたものが評価値となり、評価値は1.36829となった。